

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立石田小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を得るために、本や文章全体を概観して効果的に読むことができている。 目的に応じて、文章の内容を押さえ、自分の考えをもちながら読むことができている。 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を文や文章の中で正しく使うこと。(特に同音異義語) 目的や意図に応じて、自分の考えを明確にし、まとめて書くこと。 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができている。 目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができている。 図形の性質等に着目して、基本的な平面図形を考察することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法の計算に関して成り立つ性質を見だし、表現すること。 図形の面積の求め方を解釈し、その求め方についての説明を記述すること。 示された除法の式の意味を理解すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活をしていると思っている児童が多い。 物事を最後までやり遂げ、嬉しいと思った経験がある児童が多い。 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多い。 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。 国語や算数は、将来役立つ大切な勉強と思っている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃、本や新聞等を読む児童が少ない。 今住んでいる地域に関心をもったり、行事に参加しようとする児童が少ない。 自己肯定感が高く、夢や目標を持っている児童が増えてきているが、全国や県と比較してその割合はやや低い。 家庭学習の習慣が身につけている児童が少ない。 国語の解答時間が足りないと回答した児童が多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】

・漢字の学習に当たっては、新出漢字の読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、自分が書いた文章を見直す中で、漢字の持つ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方ができるようにする。

・自分の考えが相手に伝わるように書くためには、事実と考えを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめることができるようにする。

・接続語を使って、内容を分けて書くことに当たっては、文脈に沿って接続後の役割を理解すると共に、接続語を使って文を分けて書くことができるようにする。

【算数】

・計算に関して成り立つ性質を見いだすためには、適用する数の範囲を広げ、他の数値の場合でも成り立つかを確かめながら総合的、発展的に考えていくことができるようにする。

・記述や口頭による表現に当たっては、児童自らが見いだした計算や図形に関して成り立つ性質を、算数の用語を用いて一般的に表現することができるようにする。

・式の意味を理解するに当たっては、それぞれの式が何を表しているのかを振り返ると共に、具体物や図、数直線などを用いて考察する活動を取り入れるなど、式と具体的な場面とを関連づける場を設定することができるようにする。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

学校では、今回の調査で把握・分析した児童の学力や学習状況の特長や課題を全職員で共有し、今後の学校教育における指導の充実や学習状況の改善等に役立ててまいります。

各ご家庭におきましては、日頃から本や新聞等に触れる機会を多くしたり、家庭学習の時間を十分に確保していただきながら、粘り強く最後まで問題に取り組む姿勢を身につけられるよう、適切な環境づくりと積極的な声かけ等をお願いいたします。

また、児童の学力と生活習慣・規範意識等には相関関係が見られます。食事や睡眠、家庭学習の習慣化、規範意識の向上等に、各ご家庭並びに地域の皆様のご協力をこれからもお願いいたします。